

# 福祉生活病院常任委員会資料

(平成24年6月12日)

[件名]

- 1 第5回(平成24年度)鳥取県原子力防災専門家会議の開催結果について  
(危機対策・情報課) … 1
- 2 扇ノ山における行方不明事案に係る自衛隊の災害派遣要請について  
(危機対策・情報課) … 5

危機管理局

## 第5回（平成24年度）鳥取県原子力防災専門家会議の開催結果について

平成24年6月12日  
危機対策・情報課

原子力事業所周辺の環境放射線の測定監視、測定結果の評価及び県の実施する原子力防災対策に関する指導、助言等を得ることを目的として、専門家による標記の会議を開催した。あわせて、島根原子力発電所の現状確認のため、委員による発電所の視察を実施した。

### 1 日時

6月4日（月）午前10時～11時10分

※島根原子力発電所視察 午後1時30分～3時30分

### 2 場所

災害対策本部室（県庁第二庁舎3階）、島根原子力発電所

### 3 出席者

#### (1) 委員

鳥取県原子力防災専門家会議委員（7名）

#### (2) 県関係者

知事、危機管理局長、医療政策課、水・大気環境課、衛生環境研究所

#### (3) オブザーバー等

三朝町、米子市、境港市、中部消防局、西部消防局、原子力安全保安院、人形峠環境技術センター、中国電力等

### 4 議題等と主な意見

#### (1) 議題

ア UPZに伴う鳥取県原子力防災体制の方向性

- ・整備の方向性（体制、整備方法）
  - ・被ばく医療（被ばく医療機関の資機材、研修）
  - ・モニタリング（ポスト整備、データ）
- 今年度が体制づくりの勝負の年（知事発言）  
→ 委員からの意見

- ・ 島根県及び30km圏内市との連携が重要
- ・ オフサイトセンターのサブの検討（島根県と連携）
- ・ 職員の研修の実施と原子力研究開発機構の活用
- ・ 被ばく医療機関のネットワークづくり・施設整備
- ・ 住民避難・広報の具体化（計画やマニュアル作成）
- ・ 可搬型モニタリングポストの整備とモニタリング車の効果的な運用

イ 平成23年度環境放射線モニタリング結果（人形峠環境技術センター、島根原子力発電所）

- ・ 人形峠 環境放射線（空間ガンマ線線量率、大気中フッ素濃度）  
環境放射能サンプリング調査（河川水、飲料水、精米、野菜等）
  - ・ 島根原子力発電所 環境放射線（空間ガンマ線線量率）
- 測定値については問題なしとの評価（環境への影響なし）

#### (2) 報告

ア 人形峠環境技術センターのストレステスト結果（人形峠環境技術センター）

保安院への報告内容 …前回常任委員会報告事項

イ 原子力防災に関する改善事項（原子力安全・保安院）

ウ 島根原子力発電所の現状（中国電力）

(参考)

## 1 鳥取県原子力防災専門家会議について

### (1) 概要

ア 平成20年4月1日に設置

#### イ 設置の目的

平常時における環境放射線の調査結果について、専門家の知見から評価を得ることにより、その安全性を確認する。

原子力災害等の緊急時における現地確認等や緊急モニタリング、住民避難などの各種防災対策について、専門家の知見からの指導・助言を得る。

### (2) 会議の所掌事務

- ・ 環境放射線等モニタリング結果の評価
- ・ 環境放射線のモニタリングに係る技術的事項等の指導及び助言
- ・ 原子力災害等の緊急時における防災対策に関する指導及び助言

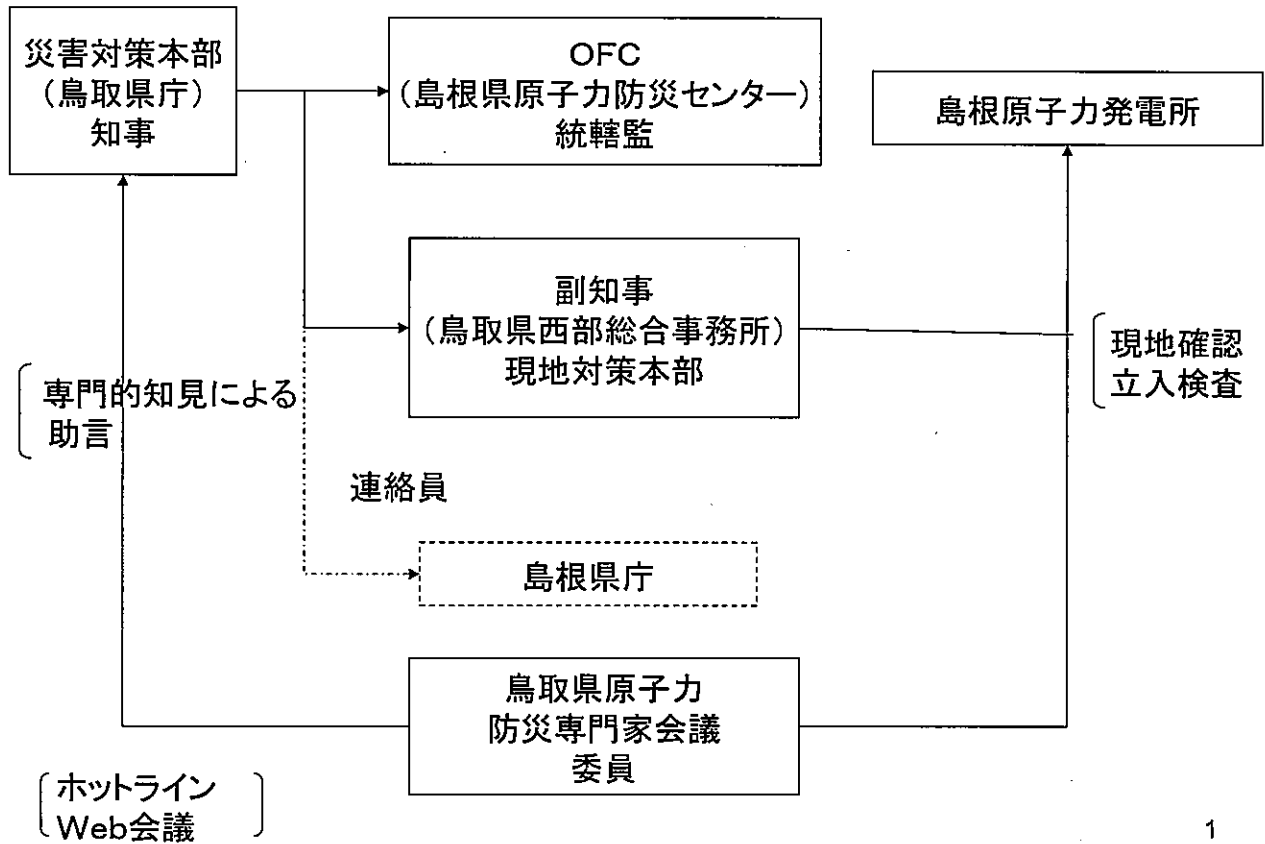
### (3) 委員 (任期 H24. 4. 1~H26. 3. 31)

	専門分野	氏名	所属	役職等	出欠
会長	放射線計測・防護	占部 逸正	福山大学工学部情報工学科	教授	出席
委員	原子力工学	青山 卓史	(独)日本原子力研究開発機構 大洗研究開発センター 高速実験炉部	研究主席	出席
	放射線治療、放射線物理	内田 伸恵	県立中央病院医療局放射線科放射線治療室	室長	出席
	原子炉工学・原子炉物理学	宇根崎博信	京都大学原子炉実験所	教授	欠席
	緊急被ばく医療	神谷 研二	広島大学緊急被ばく医療推進センター	センター長	出席
	放射線治療、放射線物理	小谷 和彦	鳥取大学医学部附属病院放射線部	准教授	出席
	環境放射能	静岡 清	広島大学大学院工学研究科	教授	出席
	放射能環境変動	藤川 陽子	京都大学原子炉実験所	准教授	欠席
	線量評価	山田 祐司	(独)放射線医学総合研究所	特別上席研究員	出席

### (4) これまでの開催状況

第1回 (平成20年5月28日)	環境放射線モニタリング結果に係る評価、鳥取県の原子力防災対策
第2回 (平成21年5月22日)	環境放射線モニタリング結果に係る評価
第3回 (平成22年5月24日)	環境放射線モニタリング結果に係る評価、緊急時モニタリング計画(案)ほか
第4回 (平成23年10月25日)	環境放射線モニタリング結果に係る評価、モニタリングポスト設置候補地ほか

## 2 原子力災害時の体制



1

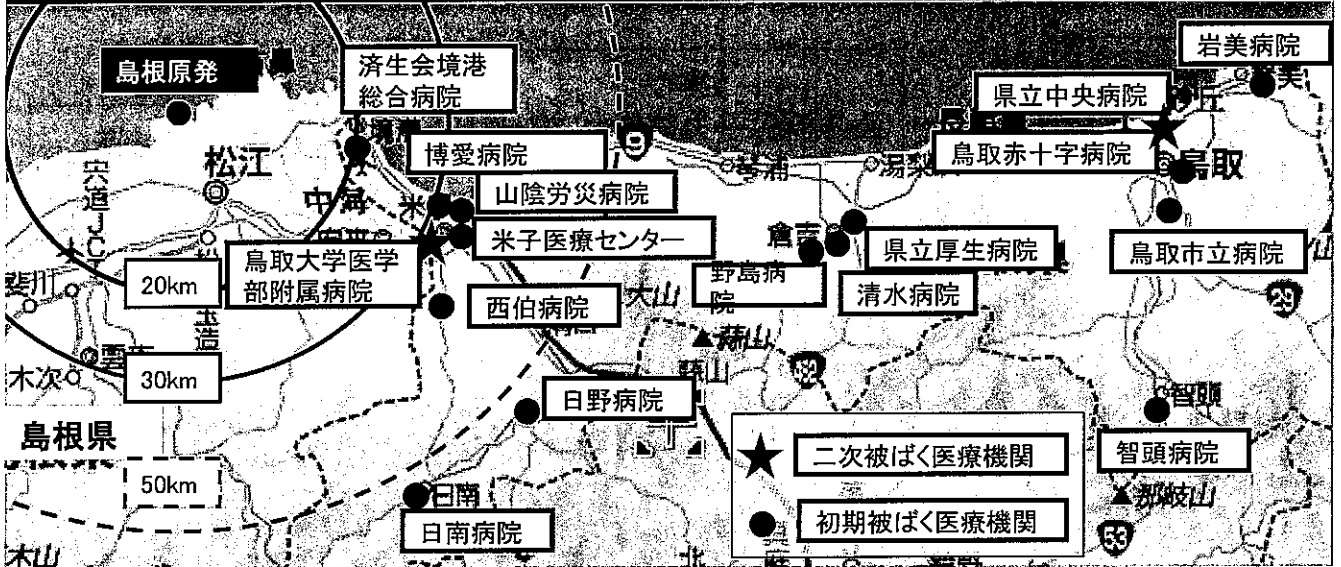
### 鳥取県原子力防災ネットワークシステム イメージ図

- テレビ会議システムによる対策協議
  - 電話、ファクシミリ通信(連絡員からモバイルPC、衛星電話等での連絡調整)
  - 情報共有用PC等によるOFCや各災害対策本部の活動状況などを情報共有等
- ※24年度整備予定



H24.3.9版

### 3 被ばく医療機関の配置及び資機材等の整備

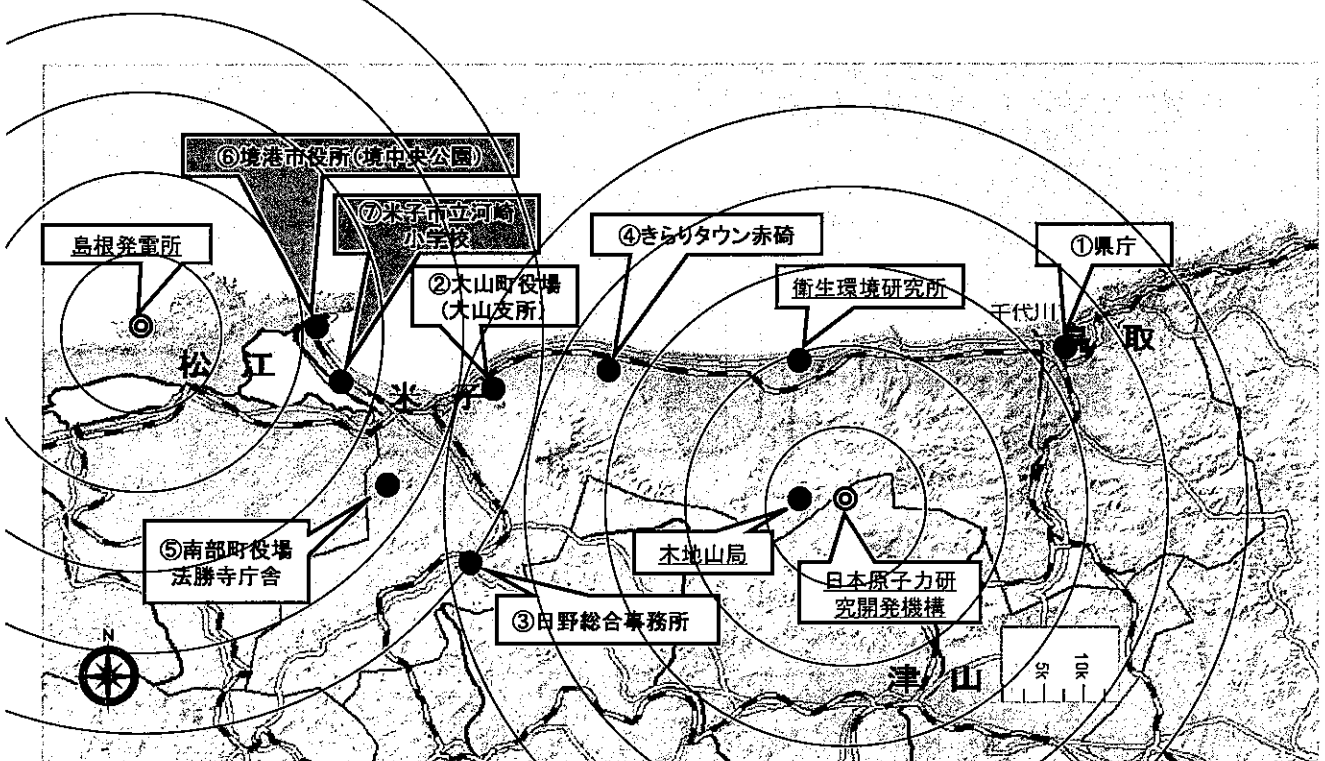


被ばく医療に関する資機材等の整備

年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
初期被ばく医療機関等	サーベイメータ、個人線量計、防護服	機器保守	機器保守
二次被ばく医療機関	サーベイメータ、個人線量計、防護服	ホールボディカウンタ、除染テント、機器保守	ホールボディカウンタ、除染テント、機器保守
その他	安定ヨウ素剤、研修等	研修等	研修等
概算金額	80,000千円	150,000千円	150,000千円

※金額は、被ばく医療機関との協議による整備内容の追加等により増額もある。

### 4 モニタリングポスト設置場所



## 扇ノ山における行方不明事案に係る自衛隊の災害派遣要請について

平成24年6月12日  
危機対策・情報課

平成24年5月23日(水)、境港市在住の男性(58歳)が扇ノ山において行方不明となり、捜索のため5月26日(土)、鳥取県知事は、鳥取市からの要請を受け、自衛隊法第83条の規定に基づき、自衛隊への災害派遣を要請しました。

なお、5月28日(月)、災害派遣を必要とする捜索活動が終了したため、自衛隊へ撤収を要請しました。

### 記

- 1 災害派遣要請・撤収要請日時  
派遣要請 平成24年5月26日(土)午後7時(27日から捜索開始)  
撤収要請 平成24年5月28日(月)午後5時
- 2 災害派遣の場所  
鳥取市国府町扇ノ山地内等
- 3 派遣の部隊  
陸上自衛隊第8普通科連隊
- 4 派遣の内容  
行方不明者の捜索
- 5 その他
  - ・ 現地等に連絡調整要員として鳥取県職員を派遣。
  - ・ 自衛隊の災害派遣は、平成24年5月18日の大山における行方不明事案に続き、本年に入って2度目。
- 6 参考(捜索規模)
  - 24日 警察(鳥取、兵庫)23名
  - 25日 警察(鳥取、兵庫)37名、警察犬1頭
  - 26日 警察(鳥取、兵庫)38名、消防団(鳥取市)22名、山岳協力者7名、ヘリコプター1機(警察)
  - 27日 自衛隊39名、警察(鳥取、兵庫)77名、消防団(鳥取市)11名、山岳協力者3名、ヘリコプター1機(警察)
  - 28日 自衛隊38名、警察(鳥取、兵庫)55名、東部消防局4名